7111千尺	T.				1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	<u>, </u>	
学科·学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース・14	^{₹次} 授業方法	講義·実習	講義時期	通年	
授業科目	総合学習	I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要	「自律」をテ	ーマに自ら考え行動	カ出来る力を総合的	りに学ぶ時間として記	定定する。	•	
(目的)							
到達目標	行えるように	こなる。評価方法に関 取得。(A・B・C・Dの	見しては各行事ごと	の振り返りレポートと	ド項目」が日常生活か 学生の個別ガイダンス 1容等を学校で定めた。	を合わせた	
授業計画	総授業	時間数 116 🖽	時間 授業回数	116 回 1回授業	45分	授業時間数	
	1	LHR ロングホー.	ムルーム(クラス行	事、学生個別ガイ	ダンス等を含む)	56	
	2	新入生歓迎ビージ	チパーティ			4	
	3	学校全体運動会				4	
	4	irc夏フェス(準備)	期間を含む)			36	
	5	EFR				16	
	6						
	7					1	
	8					 	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25					+	
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					116	
教科書	オリジナル	プルル				110	
			学校出汗にてタ	白で宝駐する(古)	ち止まって挨拶、身だ	ショカンタン	
時間外 学習					外で準備対応等があ		
)に関しては時間2 		どう。	
成績評価 方法	山佈学、5	スポープスポープス	い、近山硃趣寺の	ノ加木により総合的	ツィーロナゴ川 9 心。		
	1. 実務家 ②. 教員 備 考						
担当詳細		·伤豕 <u>4. 教具</u>	備考				
実務経	映船川	_					

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース1年次	授業方法	演習•講義	講義時期	通年			
授業科目	面接対策 I		担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修			
授業概要	就職活動は	こおける最も重要な「面	面接試験」の	対策を行う。入退室	寺の挨拶等基本的た	まものか			
(目的)	ら、自己PF	Rや志望動機をしっかり	0確立させる	00					
(
到法日博	1 リクルー	トスタイル基準の身嗜	みができて	いて第一印象が良い	_				
判建日保	2. 元気・明	月朗・笑顔で面接に臨	むことができ	さ る。	0				
	3. 質問応	答が明確で、無理のな	い応答がて	できる。					
授業計画	総授業	時間数 58 時間	授業回数	58 回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	自己紹介・シラバス配布・	科目評価方法	・センスアップセミナーにつ	ついて	4			
	2	履歴書作成練習				10			
	3	面接練習				36			
	4	センスアップセミナー	アップセミナー(プレセンスアップセミナー含む)						
	5								
	6					1			
	7								
	8					1			
	9					1			
						+			
	10								
	11								
	12					-			
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	26								
	27								
	28								
	29					1			
	30					†			
	合計時間数					58			
教科書		就職活動の進め方							
時間外			交生活にて			`しなみ等)			
学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等 2.外部依頼によるスーツ着こなし講習								
-	山内市 極楽が広 神馬変ま 相口神馬校の社用にないが 4 4 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
成績評価 方法		->	CHENC T	- 4 H > 1 + 1 C - 2 + 4 H H J C	F1 PM / 9/0				
担当詳細	1 宙	務家 (2. 教員)	備考						
-	1. 天 験紹介	4. 权具	畑 与						
夫務稅	河火下百八								

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース1年次	授業方法	演習•講義	講義時期	通年		
	パソコン演			吉原亜矢子•喜名和歌子		必修		
授業概要	PC操作の	基本、ワード及びエク	セルの基本	操作を身に付ける事を	と目的とし、実践的な	こトレーニ		
(目的)	ングを実施	立する。						
	日本語ワー	ープロ検定試験3級以	上、日本情	報処理技能検定3級以	人上取得			
到達目標	①タッチタ	イピングで10分間300	文字以上、	及び定型ビジネス文書	手の作成ができる。			
	(2)四則計1	算や「IF」など、基本的	か関数処理	里ができる。				
授業計画				70 回 1回授業	4E/\	授業時間数		
1文未可 四	1			室の使い方等の注意		2		
	2	4級速度模擬問題		主の医い力等の任息・	学 (2)	4		
	3	文書作成の注意事項	ik ついて			2		
	4	4級通信文作成練習	(10)			2		
	5	4級通信文作成模擬				2		
	6	3級通信文作成練習	可吃			3		
	7	3級通信文作成標量				3		
	8	模擬問題演習(速度・				20		
	9	表計算作成について				5		
	10	四則計算、関数の説				5		
	11	3級模擬問題	.>1			22		
	12	5/1次/关/成门/应				22		
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	合計時間数					70		
教科書	日本語ワー	ープロ検定試験模擬問]題集3・4級	数編及び情報処理(表記	計算)模擬問題3•4編			
時間外	パソコン室	にて過去問題につい	て、自主学	習を行う。				
学習								
成績評価 方法	出席率、授業態度、模擬問題の成績、検定試験の結果等総合的に評価する。							
担当詳細	世当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考							
実務経	験紹介		-					

学科•学年	エアライン科 ク	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	Interactive English	講義時期	通年
授業科目	英会話 I		担当者	ダン・アントンセン	科目必修区分	必修
授業概要				のから、少し高度な空	港業務に関する内容	字も導入
(目的)	し、就職後	を見据えて実践する。				
到達目標	Using basi	c English conversation	n through b	eginers level English.	Showing capability t	o use
N.E.I.W.		introduce one's self c				
授業計画	総授業	時間数 20 時間	授業回数	20 回 1回授業	50分	授業時間数
	1	Simple Self Introducti	ions!Introdu	ıcing Your Friend!		2
	2	Tell me about your f	amily De	scribe your job		2
	3	What did you eat for	lunch? Wh	at kind of food do you	like to eat?	2
	4	What was your childh	ood like? T	Tell us about your best	friend?	2
	5	What is your favorite	holiday? V	Vhat is your favorite se	eason?	2
	6	What is your favorite	country to	live? Where do you li	ke to travel?	2
	7			ave done and the strar		2
	8	What is your dream?			0 0,	3
	9	· ·	•	s year? What are your	nlans for your next	
	10	Triat are your main a	,0410 101 011	s year. What are year	plans for your new	
	11					
	12					
	12					
	合計時間数					20
教科書	オリジナル	プリント				
時間外						
学習						
成績評価	Class Part	icipation 50%, Class P	resentation	1 50%		
方法						
担当詳細	1. 実	経務家 (2. 教員)	備考			
実務経	ļ.		V114 3			
成績評価		▲ 受業態度、模擬問題の	成績、検定	試験の結果等総合的	 に評価する。	
成領評価 方法			7.7.4.123.1 12C/C		. н і інчі / ФО	
担当詳細	1 年	※務家 ②. 教員	備考			
実務経			NHH 🗘			
大切性	ツベルロノー					

			•		「	1
		ランドハンドリングコース1年次 授業		遠•実習	講義時期	前期
授業科目	沖縄観光	担当	i者 仲井間	利加子	科目必修区分	必修
授業概要 (目的)	沖縄の観り 展につなり	台地について学び、また見聞 る。	・体験を通して	て、歴史・文化	とや暮らしを理解し	、観光業発
到達目標	2.沖縄のフ	1理、概要を知る 化を知る事(ブクブク茶) 市町村を理解する事				
授業計画	総授業	時間数 30 時間 授業	回数 30 回	1回授業	45分	授業時間数
	1	沖縄観光とは?・メラビアン	の法則・ペーノ	ペー紹介		4
	2	DVD鑑賞(対馬丸)				4
	3	市内研修と首里城公園 課	外授業			6
	4	沖縄の伝統工芸				2
	5	沖縄の伝統芸能				2
	6	————————— 沖縄の食文化				2
	7	沖縄語(しまくとうば)言葉の	文化			2
	8	琉球・沖縄の歴史				2
	9	ブクブク茶体験				2
	10	期末確認テスト				4
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					30
教科書	うちな〜観	光教本(沖縄コンベンション	ビューロー)			
. 3 1035 1	1. ブクブク	茶体験				
学習	2. 那覇市	为研修				
成績評価 方法	出席率、授	業態度、豆テスト等総合的	に評価する。			
担当詳細	①. 実	務家 2. 教員 備	考			
宇敦奴	験紹介	https://www.irc.ac.jp/infor	mation/			

令和7年度					<u> 于仅有</u>	于修子仅有	<i>77 17</i>	ョナルリソートカレツン	
学科•学年	エアライン科 グ	ブランドハント	ジリングコース	ス1年次	授業方法	- <u>-</u> -	構義	講義時期	前期
授業科目	ヒューマンエ	デュケーシ	/ョン I(志	≅学 I)	担当者	市原	、 瑞貴	科目必修区分	必修
授業概要							方、あるべき┊ こつけていく。	・ 姿を深く学び考え、社会	会から必要
到達目標	ては各行事	ごとの振	り返りレオ	ペートと	出席率、志	学の教科書	ら率先して行 言記入内容等 評価の基準と	えるようになる。 評価大 を合わせた評価C以上 : する)	が法に関し 上取得を目
授業計画	総授業	時間数	25	時間	授業回数	: 25 E	1回授業	45分	授業時間数
	1	志学 I	序章						3
	2	志学 I	第1章	~原	感謝(ク	·レド1)~			2
	3	志学 I	第2章	~原	感動 (ク	·レド2)~			2
	4	志学 I	第3章	~	思いやり・多	気配り (ク	レド3)~		2
	5	志学 I	第4章		月朗(ク				2
	6	志学 I	第5章		矣 拶(ク				2
	7	志学 I	第6章		ま 直(ク				2
	8	志学 I		-		(クレド7)	·~		2
	9	志学I	第8章			<u> </u>			2
	10	志学 I				付件 (クレ (クレド9)~	-		2
			まとめ、		. , ,,	(2013)			
	11	∞子Ⅰ	まとめ、	が欠りた	<u>×9</u>				4
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19								
	20								
	21								
	22								
	23								
	24								
	25								
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	合計時間数								25
教科書	KBC学園	志学 I	• 11						
時間外 学習	1. 志学で学	やんだクレ	ド項目を	普段の)学校生活	にて各自で	実践する(立	ち止まって挨拶、身た	じなみ等)
成績評価 方法	出席率、授	受業態度	、レポー	·卜提出	状況等総	合的に評	価する。		_
担当詳細	1. 実	務家(2. 教員		備考				
実務経	験紹介	_							

接業科目 ビジネスマナー 担当者 宮名 和歌子 科目必修区分 必修 授業報要 (最初場で 公要となる、ビジネスマナー・教語・働く姿勢・心情えのほか、一般教養や社会的常識、社会制度などの知識、習得する。 3 連手	学科•学年	エアライン科 グ	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義	·演習	講義時期	通年	
(目的)	授業科目	ビジネスマ	ナー	担当者	喜名	和歌子	科目必修区分	必修	
議、社会制度などの知識も習得する。 2 丁等語、謙譲語など基本的な心情えができている。 2 丁等語、謙譲語など基本的な情報語の知識を習得している。 3 交換やむ辞儀など、基本的は保証の知識を習得している。 (授業計画	授業概要								
2. 丁華詩、謙譲籍など基本的が歌中の智能は対などを習得している。 3. 婆勢やお客権など、基本的動作や智能は対などを習得している。	(目的)				・働く姿	勢・心構えの)ほか、一般教養や	社会的常	
3. 姿勢や3許億など、基本的動作や電話成対などを習得している。 接換業時間数	到達目標					ている。			
1 シラバス配布・科目評価方法・授業の進め方・授業の目的と目標 2 社会人としての心構え 2 音葉違いの基本(話の仕方、開き方・敬語の基本) 2 計間のマナー 2 計間のマナー 6 携帯ニュースと前間の違いを理解する・新開授業の目的を理解する 4 7 スクラップブック使用方法・実際に新聞を読んで曜日の違いを確認する 4 8 新聞を渡む・シップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ 4 9 3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をピックアップし調べる 4 10 まとめた記事についてをグループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施 4 12 13 14 15 16 16 17 18 18 19 20 21 22 2 2 2 2 2 3 2 4 2 5 2 6 2 6 2 7 7 8 8 8 8 9 9 3 0 3 1 3 1 前時間数 3 3 4 参拝制度 かまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかまかま		3. 姿勢や	お辞儀など、基本的動	作や電話応	対などを	習得してい	る。		
2 社会人としての心構え 2 3 言葉造いの基本(話の仕方、開き方・敬語の基本) 2 4 電話応対 2 5 訪問のマナー 2 6 携帯ニュースと所開の違いを理解する・新開授業の目的を理解する 4 7 スクラップナック使用方法・実際に新聞を読んで曜日の違いを確認する 4 8 新開金誌ひ・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ 4 10 走めた記事について各グループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施 4 12 13 13 14 15 16 16 17 18 19 20 21 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 合計時間数 34 本の中のでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	授業計画	総授業	:時間数 34 時間	授業回数	34 回	1回授業	45分	授業時間数	
3 言葉遠いの基本(話の仕方、関き方・敬語の基本) 2 4 電話応対 2 5 訪問のマナー 2 6 携帯ニュースと新聞の途いを理解する・新聞投業の目的を理解する 4 7 スクランブイック使用方法・実際に新開を読んで曜日の途いを確認する 4 8 新聞を證む・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ 4 9 3つの記事を達びリードの要約・分からない用語をビックアップし調べる 4 10 まとめた記事について各グループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめケスト実施 4 12 13 14 15 16 16 17 18 19 20 21 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 合計時間数 参書・対しを読み事業力を上げる 議会や新田を読み事業力を上げる 総合のに評価する。 数 機構研 方法 総合のに評価する。 4 担当詳細 1. 実務家 ② 教験		1	シラバス配布・科目評価	i方法・授業の	進め方・拮	受業の目的と	目標	2	
4 電話応対		2	社会人としての心構え	-				2	
5 訪問のマナー 2 6 携帯ニュースと新聞の違いを理解する・新聞授業の目的を理解する 4 7 スクラップソク使用方法・実際に新聞を読んで曜日の遠いを確認する 4 8 新聞を設む・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ 4 9 3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をピックアップし調べる 4 10 まとめた記事について各グループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施 4 12 13 14 15 16 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 29 30 31 20 31 32 34 34 34 34 34 35 34 34		3	言葉遣いの基本(話の	つ仕方、聞きる	方・敬語(の基本)		2	
6 携帯ニュースと新聞の違いを理解する・新聞授業の目的を理解する 4 7 スクラップブック使用方法・実際に新聞を読んで曜日の違いを確認する 4 8 新聞を読む・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ 4 9 3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をピックアップし調べる 4 10 まとめた記事について各グループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施 4 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 合計時間数 29 30 31 合計時間数 済み計量力を上げる 29 第で学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。		4	電話応対					2	
		5	訪問のマナー					2	
8 新聞を読む・トップ記事のリード要約・お気に入り記事のスクラップ 4 9 3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をピックアップし調べる 4 10 まとめた記事について各クループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施 4 12 13 13 14 15 16 16 17 18 18 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19		6	携帯ニュースと新聞の違	違いを理解する	•新聞授	業の目的を理	里解する	4	
9 3つの記事を選びリードの要約・分からない用語をビックアップし調べる 4 10 まとめた記事について各グループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施 4 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 24 25 26 27 28 29 30 31 合計時間数 34 を計画的でする。 大き時間を読み部彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1.実務家 ② 教見 備 考		7	スクラップブック使用方法	去・実際に新聞	見を読んて	で曜日の違い	を確認する	4	
10 まとめた記事について各グループでディスカッションを行う 4 11 最終まとめテスト実施		8						4	
11 最終まとめテスト実施 4 12 13		9							
12		10							
13		-	最終まとめテスト実施					4	
14									
15		-							
16		-							
17									
18									
19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 6 6 6 6 6 7 7 28 29 30 31 6 6 6 6 6 7 7 2 8 29 30 31 6 6 6 6 6 7 7 2 8 29 30 31 6 6 6 7 7 7 7 7 7 7									
20								+	
21								+	
22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 合計時間数 34 数科書 テキスト: 実践ビジネスマナー 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により ※合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 ② 教員 備 考 株 表 表 表 表 表 表 表 表 表								_	
23 24 25 26 27 28 29 30 31 6計時間数 6計時間数 34 教科書 デキスト: 実践ビジネスマナー 時間外学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 (2. 教員) 備 考								+	
24 25 26 27 28 29 30 31 合計時間数 34 教科書 デキスト: 実践ビジネスマナー 時間外 学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価 方法 成績評価 方法 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考									
25 26 27								+	
26 27 28 29 30 31 合計時間数 34 教科書 デキスト:実践ビジネスマナー 時間外学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備考								+	
27 28 29 30 31 31 合計時間数 34 教科書 デキスト: 実践ビジネスマナー 時間外 学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価 方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 ②. 教員 備 考								+	
29 30 31 31 合計時間数 34 教科書 テキスト: 実践ビジネスマナー 時間外学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 ② 教員 備 考		-						†	
30 31 34 34 34 34 34 34 34		28						1	
31 34 教科書 テキスト:実践ビジネスマナー 時間外学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		29							
合計時間数34教科書テキスト: 実践ビジネスマナー時間外 学習読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる成績評価 方法家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。担当詳細1. 実務家 2. 教員		30							
教科書 テキスト:実践ビジネスマナー 時間外 学習 読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価 方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		31							
時間外 学習読書や新聞を読み語彙力を上げる 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる成績評価 方法家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。担当詳細1. 実務家 2. 教員備 考		合計時間数						34	
学習 様々な年代の方々と実際に会話をすることを実践し、敬語力を向上させる 成績評価方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考	教科書	テキスト: 実	実践ビジネスマナー						
成績評価 方法 家庭学習課題提出、出席率、授業態度、確認テスト、期末テストの結果により 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		読書や新	聞を読み語彙力を上け	<u>ー</u>					
方法 総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考	学習								
担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考				業態度、確認	アスト、	期末テストの	結果により		
		ļ	孫家 (2. 教員) I	備考					
	実務経	験紹介	_						

令和7年度 学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ 学科・学年 エアライン科 グランドハンドリングコース1年次 授業方法 講義・演習 講義時期

子件•子牛	エアライン科 ク	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義·演習	講義時期	前期	
授業科目	エアライン	実務(基礎)	担当者	市原 瑞貴·吉原亜矢子	科目必修区分	必修	
授業概要	64 A 11	Allo The hand a second	1H	H)		316. 59. 3	
(目的))業務について、旅客部 物運送における基礎的短		月について専門用語や舫 [−] る。	[空法に基づく規則を	学ぶ。ま	
到達目標	(100点	京満点中60点以上で合材	各)	語等の確認テストを合格	, To		
		港を就航する各空港の3 港中24空港以上正解)	レダーコート	を含えることができる。			
授業計画	総授業	· 時間数 78 時間	授業回数	78 回 1回授業	45分	授業時間数	
	1	エアライン実務を始め	る前に			2	
	2	航空会社と2レター フ	アライアンス	①航空知識		2	
	3	3レター ①航空知識				2	
	4	各航空機機種説明(①航空知識	Č		2	
	5	那覇空港従事航空会	社概要紹介	介 ①航空知識		2	
	6		①航空知記	能		4	
	7 グランドハンドリング業務						
	8	グランドスタッフ業務				26	
	9	国際航空貨物概論				26	
	10						
	11						
-	12						
	13						
	14						
	15 16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					78	
教科書	オリジナル						
時間外 学習	航空用語、	. 空港コード等の授業で	で学んだ知	識の復習を各自で進め	うる。		
成績評価 方法		】【確認テスト(5P)】【授業 こより4段階評価とする	業態度(5P)	】【提出課題(5P)】【評价	価テスト(80P)】で評値	Б	
担当詳細		孫家 2. 教員	備考				
字级纹	 験紹介	https://www.irc.ac.jp	/: Co o t : o	/			

学科•学年	エアライン科 グ	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義•演習	講義時期	通年		
授業科目	実用英語	I	担当者	新里玲子•川添樹子	科目必修区分	必修		
授業概要				出題傾向を認識する。				
(目的)	•英検取得	よに必要な語彙・リーテ	イングカ、	ライティング力、リスニン	/グ力を身に付ける。			
	•英検出題	頻度の高い1,000語を	理解できる。					
判连日保	・英文法の	基礎を理解し、30~100)語の英作文	てを作成する事ができる。				
	• 杠云生店	に必要な英語を理解し、	使用りつ争	かできる。		1		
授業計画	総授業時	間数 132時間	授業回数	132回 1回授業	45分	授業時間数		
	1	オリエンテーション				2		
	2	実力診断テスト(模擬	試験)			4		
	3	リーディング(会話文学	空所補充)			30		
	4	ライティング(英作文(意見論述))		17		
	5	リスニング (問題演習)	、シャドーイ	ング、ディクテーション	·)	18		
	6	第1回~第4回 模擬	試験(過去	問題)、解答解説		8		
	7	7 1次試験対策総まとめ						
	8	8 2次試験対策 模擬面接・ペアワーク						
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22							
	23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30					00		
おんか 士	合計時間数		≠ /n→ →- →1.\	ベフ順 ジュド / 叮 ナナ	I.\ <i>I</i> th	89		
			ミ(吐乂仕)、	、でる順パス単(旺文社	L/1世			
時間外 学習	平 一 子 百 一	(学習アプリ使用)他						
	【山舟にり】	【出席5P】【授業態度5P】【確認テスト10P】【提出課題10P】【評価テスト70P】で評価						
				ル山林旭101 11 計価フ	ハドルド』で計画			
担当詳細	学校基準により4段階評価とする 田 1. 実務家 (2. 教員) 備 考							
	 験紹介	(4)7/4 (4) (4) (4)	1/用 与					

令和7年度 学校名: 専修学校インターナショナルリゾートカレッジ 学科・学年 エアライン科 グランドハンドリングコース1年次 授業方法 講義・演習 講義時期 後期

学科•学年	エアライン科 グ	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義·演習	講義時期	後期		
授業科目	一般学力((国語・数学・時事)	担当者	大原簿記公務員専門学校	科目必修区分	必修		
授業概要						•		
(目的)		筆記)で出題される義務着 力強化を図る。	数育レベルの)国語、数学、時事関連の	復習を行う。また、SPI	対策も行		
到達目標	2. 一般社会 3. 四則の計 4. 各単元に	十算、簡単な方程式・文章	で漢字の読 間題を解く した計算方	込・書きができ内容を理り ことができる。 法を使い問題を解くことが	-			
授業計画	総授業	時間数 32時間	授業回数	32回 1回授業	45分	授業時間数		
	1	(国語)漢字の読み・記	書き①			1		
	2	(数学)四則計算①				1		
	3	(国語)漢字の読み・	書き②			1		
	4	(数学)四則計算②				1		
	5	(国語)漢字の読み・	書き ③			1		
	6	(数学)四則計算③				1		
	7	確認テスト1				2		
	8	(国語)熟語・慣用句(1)			1		
	9	(数学)角度の計算				1		
	10	(国語)熟語・慣用句(2)			1		
	11	(数学)割合・面積・体				1		
	12	(国語)熟語・慣用句(1		
		(数学)分数のかけ算				-		
	13		*427月			1		
	14	確認テスト2				2		
	15	時事問題①	LHI A HIK			2		
	16	(数学)速さ・道のり・時	時間の関係			1		
	17	時事問題②	5 25 1 1 4	I		1		
	18	(数学)反比例•文字3	、 連立方	性式		1		
	19	時事問題③				1		
	20	(数学)方程式•不等式	弋			1		
	21	確認テスト3				2		
	22	(国語)敬語の言い表	し方(尊敬)	語、謙譲語、丁寧語)		1		
	23	(数学)数列				2		
	24	(国語)敬語の言い表	し方(尊敬)	語、謙譲語、丁寧語)		1		
	25	(数学)文章問題				1		
	26	確認テスト4				2		
	27							
	28							
	29							
	30							
	31							
	32							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	合計時間数					32		
教科書	最新最強の	■ の適性検査クリア問題∮	集 '24年月	 变		•		
時間外		復習、ニュースを見る						
学習		で意識して敬語を使う						
成績評価			業態度、確	認テスト、期末テストの	 結果により			
放 表 方法	総合的に記		- ~ - , PH					
担当詳細	1/10 L H J (-H) 0 0							
実務経	l .		VIII	l				
	ツハヤロノエ	<u> </u>						

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース1年次	授業方法	実習·講義	講義時期	通年
授業科目	グランドハ	ンドリング研修 I	担当者	市原 瑞貴/企業担当	科目必修区分	必修
授業概要				する知識を座学と空港	内での研修を通して	て職種毎の
(目的)		順守すべき諸規則等 フトの運転免許取得を		う。 もに、フォークリフトの打		宇全確
		戦・技術を取得する	H 1H 1 CC		木 [F / J Д 、 ・ 1 30 年 6 万	八久土唯
到達目標						
				合格。(100点満点中80 ** 問志団生 ************************************)点以上正解で合格	らとする)
	2. 7x-2	クリフト運転技能講習(多] の認正	を関連団体より父的		
授業計画	総授業	時間数 106時間	授業回数	106回 1回授業	45分	授業時間数
及水田西	1	久米島研修	及木口外	100日 1日天木	10/3	16
	2	企業連携授業(JLSA	O)			12
	3	企業連携授業(OKA				8
	4	フォークリフト研修				38
	5	県外空港見学研修				32
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					100
数む ま	合計時間数 オリジナル					106
教科書		フリント 実務知識の復習を各	白で准みる			
時間外 学習				。 者の学生は時間外に辿	自討騒を宝歯せる	
				り総合的に評価する。	三叶吸水で 大肥りる	
成績評価 方法	<u>шлт</u> , 1х	《木心汉、则吟日贮守	マンルロング(しょ	- 7 40 日日310日11日9 20。		
担当詳細	(1)		備考			
実務経		https://www.irc.ac.jp		<u> </u> on/		
人切加土	ツハルロフト	1100p0.// www.110.ac.jp	,, iiiioiiiiati	J.1./		

接	学科•学年	エアライン科 グランドハンドリングコー	721年次 授業方法	実習•講義	講義時期	前期
(目的)	授業科目	グランドハンドリング実習	I 担当者	市原 瑞貴/企業担当	科目必修区分	必修
到達目標	授業概要					
1. エアライン実務が振いない取りアメトの音格。(100次間点に中80元以上に呼び合格で3 2 4 週間に2週間×2世)の全集を呼吸がある。	(目的)				内での実習を通し	て職種毎
1	到達目標	2. 4週間(2週間×2社)の)企業インターンシ			
2 インターンシップ (OKAAP) 26 3 4 4 5 6 7 8 9 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 29 29 公司 公計時間数 52 教科書 オリジナルブリント エアライン実務知識の復習を各自で進める。 27 28 29 29 29 29 29 29 29 29 20 27 28 29 29 29 20 27 28 29 29 29 20 27 28 29 29 29 20 20 20 27 28 29 29 29 20 20 20 20 27 <td>授業計画</td> <td>総授業時間数 52</td> <td>時間 授業回数</td> <td>52回 1回授業</td> <td>45分</td> <td>授業時間数</td>	授業計画	総授業時間数 52	時間 授業回数	52回 1回授業	45分	授業時間数
3		1 インターンシッ	プ(JLSAO)			26
4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 10 11 15 16 17 18 19 10 17 18 19 10 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 10 10 10 10		2 インターンシッ	プ(OKAAP)			26
5		3				
6		4				
7 8 9 10 10 11 11 12 13 14 14 15 15 16 16 17 18 18 19 20 21 19 22 23 24 25 25 26 26 27 28 29 30 会計時間数 52 2 数科書 オリジナルブリント 世間外 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務組織の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。		5				
8		6				
9 10 11 11 12 13 14 15 15 16 16 17 18 18 19 20 21 1 22 2 23 23 2 24 25 26 26 27 28 29 30 合計時間数 52 オリジナルブリント 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 デアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。		7				
10		8				
11		9				
12		10				
13		11				
14		12				
15		13				
16		14				
17		15				
18		16				
19		17				
20		18				
21		19				
22 23 24 25 26 27 28 29 30 52 参科書 オリジナルプリント 時間外学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家)2. 教員 備 考		20				
23 24 25 26 27 28 29 30 合計時間数 52 教科書 オリジナルプリント 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		21				
24 25 26 27 28 29 30 52 参科書 オリジナルプリント 時間外学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		22				
25 26 27 28 29 30 合計時間数 52 教科書 オリジナルプリント 時間外学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		23				
26 27 28 29 30 6計時間数 参科書 オリジナルプリント 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		24				
27 28 29 30 合計時間数 52 教科書 オリジナルプリント 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考						
28 29 30 52 教科書 オリジナルプリント 52 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		26				
29 30 52 教科書 オリジナルプリント 52 時間外学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考						
担当詳細 30 52 教科書 オリジナルプリント 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考						
合計時間数52教科書オリジナルプリント時間外 学習エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する成績評価 方法出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。担当詳細1. 実務家 2. 教員 備 考						
教科書 オリジナルプリント 時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考						
時間外 学習 エアライン実務知識の復習を各自で進める。 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考						52
学習 エアライン実務基礎の振り返り試験不合格者の学生は時間外に追試験を実施する 成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考						
成績評価 方法 出席率、授業態度、研修日誌等の結果により総合的に評価する。 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考					Cont Direct No. 1 Cont. 1	
方法 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考	子省 ————				a 試験を実施する	
		出席率、授業態度、研修	日誌等の結果によ	り総合的に評価する。		
実務経験紹介 https://www.irc.ac.jp/information/	担当詳細	1. 実務家 2. 教員	備考			
	実務経	験紹介 https://www.ir	c.ac.jp/information	on/		

学科•学年	エアライン科 グ	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義•	万 省	講義時期	通年		
授業科目		反扱者(法令·物理·性質)		市原		科目必修区分	必修		
授業概要 (目的)		定める危険物・貯蔵方 カ・科学的知識やその				定める引火性液体の	の知識に加		
到達目標	合格、物理]の危険物取扱者模擬 里:10問中6問正解で 例本試験にて法令・物理	合格、性質	:10問中6問			問正解で		
授業計画	総授業	時間数 158時間	授業回数	158回	1回授業	45分	授業時間数		
	1	危険物取扱者(法令))※導入·校	で内模試含む	3		74		
	2	危険物取扱者(物理	•科学)				54		
	3	危険物取扱者(性質)				30		
	4								
	5					_			
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14						1		
	15								
	16								
	17 18						+		
	19								
	20								
	21						+		
	22						+		
	23								
	24								
	25						1		
	26								
	27								
	28					-			
	29								
	30								
	合計時間数						158		
教科書	向学院 基	基礎から最新問題まで	よくわかる	乙四類危険	的取扱者	受験教科書			
時間外	1.教科書の	の練習問題を各自で進	生める。						
学習		2.校内模試試験結果の誤答レポートの作成を各自で進める。							
成績評価 方法	出席率、挖	受業態度、模擬テスト、	本試験の統	吉果により総	合的に評価	西する。			
担当詳細	1. 実	※務家 ②. 教員	備考						
実務経	ļ	_	ип Ј	ļ					
ノマヨノエバエム	シンケロノエ								

11/11/1/	T.		ナスカ・サル		3//0/// 1/00//		
学科•学年	エアライン科 ク	ブランドハンドリングコース1年次	授業方法	講義·演習	講義時期	後期	
授業科目	エアポート	·実務 I	担当者	市原 瑞貴	科目必修区分	必修	
授業概要	業界では	 使用する航空用語や、	航空支援特殊	 	i.空機地上支援業務/	こ特化した	
(目的)		美践的な知識を学び、					
	合格とする 2. 航空用	で学んだ知識の復習問 る) 引語(応用)空港特殊車 上正解で合格とする)					
授業計画	総授業	時間数 34 時間	授業回数	34 回 1回授業	巻 45分	授業時間数	
	1	前期の復習(3レター	、2レター、航	空用語基礎、航空	5危険物)	4	
	2	航空用語(応用)				4	
	3	空港特殊車両(応用))			4	
	4	グランドハンドリングヤ	作業工程時間	(STAY TIME)		4	
	5	機体別コンテナ収納	台数、Door	Side		4	
	6	出発から到着までの				4	
	7	貨物部門について	H FI 1/4 1 1 / 1	7.2 1 7/3/1		4	
	8	那覇空港内フィールドワーク					
	9	が朝空後パンオールドソーク 学年末テスト					
	10	1 1 2/62 2 4				2	
	11					1	
	12						
	13						
						+	
	14					1	
	15						
	16					<u> </u>	
	17					 	
	18						
	19						
	20					1	
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					34	
教科書	オリジナル	プリント					
時間外 学習	前期で取る	得したエアポート実務の	の知識の復習	を各自で進める。			
成績評価	山中学 坛	受業態度、豆テスト等の	つ結果により総	合的に評価する			
方法	山州学、珍		- May (
方法 担当詳細		※ 高度、 立 / ハ 「 す v	備考				

口和工一次			于仅4.寸		1 / / P / / 1 / V / V V	1
学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース 2年次	授業方法	講義•実習	講義時期	前期
授業科目	総合学習	Π	担当者	川添 樹子他	科目必修区分	必修
授業概要						
(目的)		「自立」をテーマに自ら				
到達目標	②イベントの	ームや担任とのガイダンス 目的や規則などを守り他の の就職活動規則や業界-	の存在を意識し	て行動発言できる。		ដ職活動がで
授業計画	`` <u>'</u>	時間数 82時間	授業回数	82回 1回授業	45分	授業時間数
	1	LHR(学園イベントを	(含む)			28
	2	新入生歓迎ビーチ	パーティー			4
	3	学校全体運動会				4
	4	夏フェス				36
	5	サスティナブルマネ	ジメント			10
	6	77 77 77 77 7 1	• / • 1			10
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					82
教科書	オリジナル	プリント他				•
時間外	1. 学生クレ	/ドの項目を普段の学	校生活にて行	各自で実践する(立ち	」 止まって挨拶、身だ	しなみ等)
学習		事(夏フェスその他行				
		】【確認テスト(5P)】【授				 価
方法		こより4段階評価とする		· - · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	, /=	•
担当詳細		務家 2. 教員	備考			
実務経			VIII J			
ノヘッカルエ	シンハロノト					

				授業方法		講義	講義時期	前期
授業科目	ヒューマンエ	デュケー	ション(志学Ⅱ)	担当者	喜名	和歌子	科目必修区分	必修
授業概要	Harry	- " ル. シ ~	7	つ 296年12日		4. 人) の 部1. ハ	いのせるようなのはよ	スを執る
(目的)			5のか…字ふの将来の「やりが				りの中で自身の生き ける。	る姿勢や
到達目標	1. 1		さなる人物を挙 味をしっかり理					
授業計画	総授業	時間数	33時間	授業回数	33回	1回授業	45分	授業時間数
	1	序章	志学 I 振り返り)				4
	2	第1章	「志とは」					4
	3	第2章	感化力「志」 語	寄く生きた人	に学ぶ	※家庭学習	習課題対応	6
	4	第3章	伝える力(思い	ハを言葉に	変える力)を磨く		5
	5	第4章	考える力(思	考力)を磨く				6
	6	第5章	私の「志」					8
	7							
	8							
	9							
	10							
	11							
	12							
	13							
	14							
	15							
	16							
	17							
	18							
	19							
	20							
	21							
	22 23							
	24							
	25							
	26							
	27							
	28							
	29							
	30							
	合計時間数							33
教科書		オリジナ	- ルテキスト 「;					
時間外			· ·					
学習								
成績評価	出席率、授	受業態度	こ、レポート提出	1等総合的	に評価す	⁻ る。		
方法			_					
担当詳細	1. 実	務家	2. 教員	備考				
実務経	験紹介	_						

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース 2年次	授業方法	演習·講義	講義時期	前期			
授業科目	パソコン演	漝Ⅱ	担当者	與那城 幸美	科目必修区分	必修			
授業概要	1 /5 //4 ~ 3 12	1/日) よ おかた し ム し	~ \@_\	4+46+ 1.411 ~ ·	。。 いつ、本合のそころ	- [<i> </i>			
(目的)		¦得した技能を土台とし 旨す。併せて、企業現:				- 上1 北救			
	WHI CHI		*** *	In / II C II C II C II C	4 / 30				
到達目標	日本情報外	処理検定協会の主催~	する検定試験	験(準2級以上)の知識	競及び技能が身につ	いている			
	こと。		, 9 ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
授業計画	総授業		授業回数		45分	授業時間数			
200000	1			IFJ、「SUM」、「AVE		2			
	2	模擬試験問題(2級)	演習①(特)	こVLOOKUPを重点	的に理解する)	2			
	3	模擬試験問題(2級)	演習②(セ/	レ証明、IFの応用を理	!解する)	2			
	4	模擬試験問題(2級)	演習③(グラ	ラフ作成について理解	(する)	2			
	5	5 模擬試験問題(2級)演習④(随時、解説を行う)							
	6	模擬試験問題(2級)	演習⑤	IJ		2			
	7	模擬試験問題(2級)	演習⑥	IJ		2			
	8	模擬試験問題(2級)	演習⑦	IJ		2			
	9	模擬試験問題(2級)	演習⑧	IJ		2			
	10	模擬試験問題(2級)	演習⑨	IJ		2			
	11	模擬試験問題(2級)	演習⑩	IJ		2			
	12	模擬試験問題(2級)	演習⑪	IJ		2			
	13	模擬試験問題(2級)	演習⑫	IJ		2			
	14	模擬試験問題(2級)	演習①	IJ		2			
	15	模擬試験問題(2級)	演習⑭	IJ		2			
	16	模擬試験問題(2級)	演習①	IJ		2			
	17	模擬試験問題(2級)	演習16	IJ		2			
	18	ワープロ検定につい	て説明			1			
	19	基本タイピング練習				2			
	20	受験級決め速度テス	<u> </u>			2			
	21	速度 計測				4			
	22	通信文のレイアウトに	ついて説明]•練習]			
	23	通信文練習				6			
	24	通信文 計測				6			
	25	検定に向けての再確	認(印刷プロ	/ビューと印刷につい	て説明など)	1			
	26								
	27								
	28								
	29								
	30								
	合計時間数					56			
教科書	情報処理権	倹定試験 表計算 模	擬問題集(準2級·2級)					
時間外	パソコン室	にて過去問題につい	て、自主学	習を行う。					
学習									
成績評価	出席率、授	受業態度、模擬試験及	び本試験の	結果により総合的に	評価する。				
方法									
担当詳細	l 当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考								
実務経	験紹介								
									

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース 2年次	授業方法	講義•演習	講義時期	前期				
授業科目	航空無線(法規)	担当者	吉原 亜矢子	科目必修区分	必修				
授業概要		577年40日~3574		V == +V) = == +V	1112 VK 218 54 75 5 1	mz 13 o				
(目的)		どめる無線局の許可制 されているかを理解す		正事者について諸規則	則を字び、肌空の分	野でどの				
	\$)(C1D/I)	CAUCY JA EXEMY	<i>'</i> ₀							
到達目標	① 航	朱無線技士試験の合格	攻其淮(60%	じた)を満たしている	~ L					
		及び無線従事者の役割								
授業計画	※極 業		授業回数		4E/\	授業時間数				
1文未可四			, ,	40回 1回1文未 対得のメリット等・電波法の目的・用語						
	2	・無線局の免許と解説		X付のアッツト寺・电仮伝の日内・川語	炒	1				
	3	無線局の免許申請	兀							
		・予備免許中の変更				1				
	4		出田ファド市	4.3 2.3 4.4 15 16 16		1				
		5 ・無線局免許の有効期間及び再免許・記載事項変更								
	6	•無線従事者				1				
	7	・無線局の運用	<u>'</u> ⇒+\:\+			1				
	8	・航空移動業務の通信		子1.		1				
	9	・航空移動業務の通	•			1				
	10	•業務書類 •免許状	の訂正・冉ク	2付又は返納		1				
	11	・電波の発射の停止	0.20(2) YF III			1				
	12	・無線局の免許の取り)消し、連用	の停止・制限		1				
	13	校内模試				28				
	14									
	15									
	16									
	17									
	18									
	19									
	20									
	21									
	22									
	23									
	24									
	25									
	26									
	27									
	28									
	29									
	30									
,,, ,, ,	合計時間数	la Vi. Date de la constitución	ت د د داد ادم اد			40				
教科書		者養成課程用 標準教 	枚科書 法規	. 航空特用						
時間外	過去問題の	の復習								
学習										
成績評価	出席率、授	と業態度、模擬試験、	本試験の結	果により総合的に評価	<u> </u>					
方法										
担当詳細		務家 2. 教員	備考							
実務経	験紹介	https://www.irc.ac.jp	o/informatio	n/						
										

7111年度			于区和,于区	子区マノ	, , ,	アルリノートルレツ:	
学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース 2年次	授業方法	講義•演	習	講義時期	前期
授業科目	航空無線	(工学)	担当者	市原 瑞	貴	科目必修区分	必修
授業概要					•		•
(目的)	電波の特性	で無線機器に関する	基礎知識の習得	を目指す。			
到達目標	2. 空港地	殊無線技士の取得 上職にて「航空特殊 信術(実技・欧文コー		格の活用力	方法		
授業計画	総授業	時間数 32時間	授業回数	30回 1	回授業	 15分	授業時間数
	1	始めに:シラバス配右	万 授業の進め	方と目的 🏻	評価の方	法について	1
	2	第 1章:電波の性質	•本試験過去問	題による演	質習 解答	と解説	1
	3	第 2章:電気と磁気・	本試験過去問	題による演	習 解答	と解説	1
	4	第 3章:電気回路•本	試験過去問題	夏による演習	引 解答と	 解説	1
	5	第 4章:半導体及び	電子管•本試験	過去問題	による演習	習 解答と解説	1
	6	第 5章:電子回路•本	試験過去問是	見による演習	解答と	解説	1
	7	第 6章:無線通信装	置•本試験過去	に問題による	海習 解	客と解説 (1997年) (199740) (1997740) (199774) (199774) (199774) (199774) (199774) (199774) (19977	1
	8	第7章:無線航法装	置•本試験過去	・問題による	海習 解	 Z答と解説	1
	9	第 8章:レーダー・本	試験過去問題	による演習	解答と	 解説	1
	10	第 9章:空中戦系・オ					1
	11	第10章:電波の伝番	本試験過去	引題による演	寅習 解名	をと解説	1
	12	第11章:混信など・本					1
	13	第12章:電源•本試懸					1
	14	第13章:測定·本試懸		- 0			1
	15	第14章:点検及び保					1
	16	工学最終確認テスト					1
	17	実技試験の実施方法		ファナティッ	クコード	 の説明と暗記	4
	18	実技練習(受話):ラ					2
	19	実技練習(受話):ラ					2
	20	実技練習(送話):フ					2
	21	実技練習(送話):フ					2
	22	実技練習(送話):フ					2
	23	実技最終確認テスト	, , , , , , , , , ,	1 2 1 4000	1(0):1()		2
	24	J C J C J C J C J C J C J C J C J C J C					1
	25						1
	26						1
	27						
	28						
	29						1
	30						1
	合計時間数						32
教科書	1	L					1 02
時間外							
学習		の誤答問題の復習					
成績評価 方法		受業態度、模擬試験、	本試験の結果	により総合ロ	的に評価	0	
担当詳細	(1. 筆	孫家 2. 教員	備考				
実務経	_	https://www.irc.ac.j					
人切用生	ツハルロフト	1110po.// www.no.do.j	P/ IIIOI IIIGUOII/				

11/11 1 /Z			1 7		7 / • / · · · · · · · · · · · · · · · · ·	`→ ·			
学科·学年	エアライン科 グ	・ランドハンドリングコース 2年次	,,	講義·演習	講義時期	通年			
授業科目	実用英語I		担当者	新里・ノール・川添	科目必修区分	前期			
授業概要	過去問・模試・英検合格に必	演習を通して、1・2次試験の出 2と要な英語力(語彙・文法・読解	は題傾向を認識で ロ・ライティング、	ける。 リスニング)を習得する。					
(目的)									
(🗆 🗓)	* 古松 !! !! !! !! !! !! !! !! !! !! !! !! !!	頻度の高い1,000語を理	紀できる						
到達目標		頻及の同V1,000品を埋 基礎を理解し、30~100記		作成する事ができる。					
	•社会生活	に必要な英語を理解し、	使用する事力	ができる。					
授業計画	※ 極 	担米 02時間	授業回数		15/>	授業時間数			
汉未可四		ı	1文未四数	92回 1四坟未	45分 ————————————————————————————————————				
	1	オリエンテーション	- A m A \			1			
	2	実力診断テスト(模擬		La VII.		2			
	3	大問1対策: 語彙・/		·		11			
	4	大問2対策: 語彙・イ			<u> </u>	4			
	5			長文読解(Email、長文	·	11			
	6 大問4対策①: 語彙・イディオム、ライティング (要約/Email)								
	7			、ライティング(英作文		11			
	8			ーイング、ディクテージ	/ョン)	10			
	9	第1回~第4回 模擬		問題)、解答解説		12			
	10	1次試験対策総まとめ		VI - 65 HP 1. 1/4.7 L = 111		10			
	11	2次試験対策(問題内	容•解答方	法、質問応答練習、模	擬面接)	16			
	12								
	13								
	14								
	15					<u> </u>			
	16					<u> </u>			
	17								
	18					<u> </u>			
	19					ļ			
	20					<u> </u>			
	21								
	22								
	23								
	24								
	25					<u> </u>			
	26					<u> </u>			
	27								
	28								
	29					1			
	30					<u> </u>			
	合計時間数	<u> </u>				92			
教科書		饭過去全6回全問題集			:)他				
時間外	単語学習、	、ライティング (要約/Ei	mail、英作文	()他					
学習									
成績評価		【授業態度10P】【確認		【提出課題20P】【評価	テスト40P】で評価				
方法	学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	1. 実	三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三	備考						
ミ 務経験紹介									

授業科目		ブランドハンドリングコース 2	2年次1授業方法1	演習	講義時期	通年	
			32,76,3 12.		h12.43%1 \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\	一一一	
	英会話Ⅱ		担当者	非常勤講師	科目必修区分	前期	
			ent varying types rs in public speaki		lish and gain knowle	edge and	
判廷日际	・プレゼン	で や ビジネスシーン テーション 内容の 語で出来る。	で使う英語力が身構成や原稿作りの	がに着く。 体験を重ねることで	で、短時間で準備し	印象に残る	
授業計画	 総授	受業時間数 48時間			45分	授業時間数	
	1	Getting Ready for	Speech (Self Introdu	ctions) Unit One Pa	rt 1	8	
	2	Model, Language,	Delivery, Posture, F	Practice, Vocabulary	and Format	8	
	3	Unit One Part 2 B	asic Patterns, Self-I	ntroductions with pa	rtners	8	
	4	Unit One Review a	nd Self-Introduction	ns Test Presentation	S	6	
	5	Getting Ready for	speech (Introducing	Someone) Unit Two	Part 1	6	
	6	Model, Language,	Delivery, Posture, F	Practice, Vocabulary	and Format	6	
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
_	16						
-	17						
-	18						
-	19						
-	20						
-	21						
Ļ	22						
	23					1	
-	24						
	25					1	
	26					1	
	27						
	28					1	
<u> </u>	29						
	30 合計時間数					40	
(Getting Rea	 ady for Speech "A E Charles LeBeau & I		Public Speaking" (La	anguage Solutions	48	
n+ 88 41							
時間外 学習							
成績評価	【出席率(3	0%) 【授業態度〔	30%) 【評価テスト	(40%)]			
方法 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	学校基準	により4段階評価と 務家 2. 教員	する 一備考し				

授業観要	学科·学年	エアライン科 ク	「ランドハンドリングコース 2年次	授業方法	演習・	講義	講義時期	前期
●を理解することが旧来る。 ・	授業科目							
シーなど)。	授業概要 (目的)	置を理解す・働く条件や	ることが出来る。 と労働関連についての用]語や意味を	理解すること		得し、新入社員として	の立ち位
	到達目標	ターなど)。				レーションノ	ヽンドリング用語およて	バスリーレ
2 オペレーションハンドリング専門用語の解説 11 11 15 16 17 18 19 19 19 19 19 19 19	授業計画	総授業	時間数 34 時間	授業回数	34 回	1回授業	45分	授業時間数
3 通話用語		1	エアラインで働く前に	知っておき	たい用語			11
4 まとめテスト 1 5 6 7 7 8 9 10 11 11 12 13 14 15 16 17 18 19 16 17 18 19 19 19 19 19 19 19		2	オペレーションハンド	リング専門	用語の解説			11
5		3	通話用語					11
6		4	まとめテスト					1
10		5						
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 19 19 19 19 19 19		6						
9 10 11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		7						
10		8						
11		9						
12		10						
13		11						
14		12						
15		13						
16		14						
17		15						
18								
19		17						
20								
21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 29 30 29 31 34 34 34 34 34 34 34								
22								
23								
24								
25 26 27 28 29 30 34 34 34 34 34 34 34								
26 27 (26) (27) (28) (29) (29) (29) (29) (20) <		-						1
27 28 29 30 34 34 34 34 34 34 34								
28 29 9 9 9 30 30 34 34 教科書 自主作成プリント 1 専門用語の暗記 9 1								
29 30 30 34 教科書 自主作成プリント 時間外 学習 ①専門用語の暗記 成績評価 方法 【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		-						
30 34 34 34 34 34 34 34								
合計時間数34教科書自主作成プリント時間外学習①専門用語の暗記成績評価方法【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価学校基準により4段階評価とする担当詳細1. 実務家 2. 教員 備 考								
教科書自主作成プリント時間外 学習①専門用語の暗記成績評価 方法【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする担当詳細1. 実務家 ②. 教員 備 考								0.1
時間外 学習 ①専門用語の暗記 成績評価 方法 【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 ②. 教員 備 考	サムシリーキャ							34
学習 成績評価 方法 【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考								
方法 学校基準により4段階評価とする 担当詳細 1. 実務家 2. 教員 備 考		U等門用i	部の暗記 					
方法学校基準により4段階評価とする担当詳細1. 実務家 2. 教員 備 考	成績評価	【出席(5P)	【確認テスト(5P)【授	業態度(5P)	】【提出課題	(5P)【評	価テスト(80P)】で評	価
		学校基準	により4段階評価とする)				
実務経験紹介	担当詳細	1. 集	孫家 2. 教員	備考				
	実務経	験紹介						

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース 2年次	授業方法	講義	•実技	講義時期	前期				
授業科目	エアポート	実務Ⅱ(実務・KYT)	担当者	市原	瑞貴	科目必修区分	必修				
	空港に関す識を習得す	る関係法規とその内容を	と理解し、1年	F次に取得し	た知識より高	高度な航空機地上支持	爰業務の知				
	既で 白行り	℃									
(目的)											
到達目標		2年次にて学んだ航空気	口識のまとめ	問題を合格。	。(100点満点	点中80点以上で正解	で合格とす				
	る) 2. 全国並で	びに世界3レター8割理角	遅できる。(約	」120間中96	間以上正解	で合格とする)					
	3. CAB車向	両試験問題模擬試験合	各。(100点清	点中80点以	以上で合格と	する)					
授業計画	総授業	時間数 44 時間	授業回数	44 回	1回授業	45分	授業時間数				
	1	全国3レター					4				
	2	世界主要都市空港3	レター				2				
	3	3 エアポート実務Ⅱの趣旨説明									
	4	1年次の復習テスト					4				
	5	全国3レターテスト					2				
	6	世界主要都市空港31					2				
	7	航空機機種別コンテ	ナ搭載台数	とDoor Sl	DE		4				
	8	旅客航空用語					4				
	9	3~8まとめテスト					4				
	10	CAB車両試験対策	1				10				
	11	CAB車両試験まとめて					4				
	12	まとめ、振り返りレポー	- ト提出				2				
	13										
	14										
	15										
	16 17						 				
	18										
	19										
	20						1				
	21										
	22										
	23										
	24										
	25										
	26										
	27										
	28										
	29										
	30										
	合計時間数						44				
教科書		なく、教務の作成委した									
時間外		で取得したエアポート第									
_		テストにて合格点未満	の学生対し	ては時間を	外に追試験	を行う。					
/3/A/A/A II II IIII		受業態度、各テスト、									
方法	及び、学期末テストの結果により総合的に評価する。										
担当詳細		務家 2. 教員	備考								
実務経	験紹介	https://www.irc.ac.jp	/informatio	on/							

令和7年度			子仪石:导	修字校インターナショ	フラレップ 一トカレッシ						
		ランドハンドリングコース 2年次		講義·演習	講義時期	前期					
授業科目	B検ジョブ	パス	担当者	崎山さとみ	科目必修区分	必修					
授業概要 (目的)		ーャリアビジョンを構築で 引係、ビジネスツールな				仕事の基					
到達目標		マナーとコミュニケーを 実践とビジネスツールの									
授業計画	総授業	時間数 80時間	授業回数	80回 1回授業	45分	授業時間数					
	1	キャリアと仕事のアプ	ローチ			2					
	2	社会活動の基本				4					
	3	3 コミュニケーションマナーの重要性									
	4	指示の受け方と、報告	☆連絡・相談	談		4					
	5	話し方と聞き方のポイ	ント			4					
	6	電話応対				4					
	7	話し方と聞き方のポイ	ント			4					
	8	来客対応と訪問の基準	本マナー			4					
	9	冠婚葬祭のマナー				4					
	10	仕事の取組み、進めて	方			2					
	11	ビジネス文書の基本				4					
	12	統計データの作り方、				2					
	13	情報収集とメディア活	·用			2					
	17	会社数字の読み方				2					
	19	ビジネス能力検定テス	ト校内模詞	<u> </u>		34					
	18										
	19										
	20										
	21										
	22										
	23										
	24										
	25										
	26										
	27 28					1					
	28					1					
	30										
	合計時間数					80					
 教科書		 記力検定ジョブパス3級	公式試驗	 問題集							
時間外学習		み、様々な数値、統計し									
成績評価 方法	授業態度	ビジネス能力検定過	去問題テス	ト理解度テスト							
担当詳細	1. 実	務家 2. 教員	備考								
実務経	験紹介										
ļ											

7111年度			1 10 11 11	多子校インターテン	177.72	~	
学科•学年	エアライン科 グランドハンドリングコース2年次		淡 授業方法	講義•実習	講義時期	後期	
授業科目	総合学習Ⅱ		担当者	川添 樹子他	科目必修区分	選択必修	
授業概要			•		•		
(目的)	「自律」から	「自立」をテーマに自	ら考え行動出来る	る力を総合的に学ぶ町	寺間として設定する。		
到達目標	①ホームルームや担任とのガイダンスなどクラス単位の中で主体性をもって発言行動できる ②イベントの目的や規則などを守り他の存在を意識して行動発言できる。 ③学校独自の就職活動規則や業界一般の活動のスケジュールや慣習などを理解し、他者と協調した就職活動ができる						
授業計画	総授業時間数 180時間 授業回数 180回 1回授業 45分						
	1	LHR				12	
	2	就職実務II				10	
	3	チャレンジ検定対策	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			40	
	4	会社実務(簿記基础	 遊)			34	
	5	福祉交流				34	
	6	フィジカルトレーニ	ング			50	
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
	合計時間数					180	
教科書							
時間外 学習	1. 学生クレドの項目を普段の学校生活にて各自で実践する(立ち止まって挨拶、身だしなみ等)						
	2. 学校行事(夏フェスその他行事等)に関しては時間外で準備対応等がある。						
方法	【出席(5P)】【確認テスト(5P)】【授業態度(5P)】【提出課題(5P)】【評価テスト(80P)】で評価						
	学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	Ⅰ. 実	孫家 2. 教員	備考				

学科•学年	ェアラ か 利 ガ			演習		通年			
		フンドハンドリング コースZ年次			講義時期				
授業科目	英会話II Prepare practice and present v		担当者	非常勤講師	▲ 科目必修区分	後期 Ige and			
授業概要 (目的)	Prepare, practice, and present varying types of speeches in English and gain knowledge and experience in proper manners in public speaking.								
到達目標	・日常生活やビジネスシーンで使う英語力が身に着く。 ・プレゼンテーション内容の構成や原稿作りの体験を重ねることで、短時間で準備し印象に								
	発表が英語で出来る。								
授業計画	総授	受業時間数 52時間	授業回数 5	2回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	Unit Two Review and Ir	ntroducing Som	eone Test Presentatio	ons	2			
	2	Getting Ready for Speed	ch (Demonstra	tion) Unit Three Part	1	2			
	3	Model, Language, Deliv	ery, Posture, I	Practice, Vocabulary a	and Format	4			
	4	Unit Three Part 2, Demonstration Speeches Patterns and Practice							
	5	Unit Three Review and Demonstration Speeches Test Presentations							
	6	Getting Ready for Speech (Layout Speeches) Unit Four Part 1							
	7	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format							
	8	Unit Four Part 2, Layor				4			
	9	Unit Four Review and L				4			
	10	Getting Ready for Spee				4			
	11	Model, Language, Delivery, Posture, Practice, Vocabulary and Format							
	12	Unit Five Part 2, Book and Movie Reviews Patterns and Practice							
	13	Movie and Book Review Practice Presentations Unit Five Review and Book and Movie Review Test Presentations							
	14	Unit Five Review and B	ook and Movie	Review Test Present	ations	4			
	15					1			
	16								
	17								
	18					1			
	19					1			
	20					1			
	21					1			
	22					1			
	23								
	24					1			
	25					 			
	26								
	27 28					+			
	29					+			
	30					+			
	合計時間数					52			
		Lady for Speech "A Begins	ner's Guide to	Public Speaking" (Lar	nguage Solutions	JZ			
教科書		Charles LeBeau & David		10 (20)					
時間外 学習									
成績評価	【出席率(3	0%) 【授業態度(30%)	【評価テスト	(40%)]					
方法	学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	1. 実務家 ②. 教員) 備 考								

7 411 千/支			1 DO H - 1	修子仅イング アンコ	7 7 7 7 7 7 7 7	
学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース2年次	授業方法	講義•演習	講義時期	通年
授業科目	実用英語I		担当者	新里玲子·川添樹子	11111212 12	後期
授業概要		莫試演習を通して、1・2				
(目的)	•英検合格 	に必要な英語力(語彙	東・文法・読 が	解・ライティング、リスニ	ニング)を習得する。	
到達目標	・英文法の	預度の高い1,000語を理 基礎を理解し、30〜100記 こ必要な英語を理解し、	吾の英作文を			
授業計画	総授業時	g 数 96時間	授業回数	96回 1回授業	45分	授業時間数
	1	オリエンテーション				2
	2	実力診断テスト(模擬	試験)			4
	3	大問1対策: 語彙・イ	゚゚ディオム、こ	文法		10
	4	大問2対策: 語彙・イ	·ディオム、 §	長文読解(空所補充)		2
	5	大問3対策: 語彙・イ	ディオム、長	長文読解(Email、長文	:読解)	6
	6	大問4対策①: 語彙・イディオム、ライティング(要約/Email)				10
	7	大問4対策②: 語彙・イディオム、ライティング(英作文)				
	8	リスニング対策(問題)	•		<u> </u>	10
	9	第1回~第4回 模擬			<u> </u>	10
	10	1次試験対策総まとめ				10
	11	2次試験対策(問題内	容・解答方			14
	12		, H / J H / J		(4)/C pass 42//	
	13					
	14					1
	15					1
	16					
	17					1
	18					
	19					
	20					1
	21					1
	22					
	23					1
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					96
教科書			(旺文社)、	でる順パス単(旺文社	土) 他	ļ
時間外 学習		ライティング (要約/Er				
成績評価 方法		【授業態度10P】【確認 こより4段階評価とする		【提出課題20P】【評価	ラスト40P】で評価	
担当詳細	1. 実	務家 2. 教員)	備考			
宝	験紹介					

学科•学年	エアライン科 グ	ランドハンドリングコース・2年次	授業方法	実習	講義時期	後期			
授業科目	入社前実*	NA CONTRACTOR OF THE CONTRACTO	担当者	川添 樹子	科目必修区分	選択必修			
授業概要	①講義等で得た知識を実践の場で体験を行う								
(目的)	②就職を意識した企業観察を同時に行い、就職後をイメージした研修の実施								
到達目標	①各内定を頂いた企業からの事前課題資料の学習及び業務についての基礎的な学習の実施								
		施。 ②社会人また職業人としての基礎的な知識また実技を習得する。							
授業計画	総授業	時間数 328時間	授業回数	328回 1回授業	45分	授業時間数			
	1	入社前実習				328			
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								
	16								
	17								
	18								
	19					<u> </u>			
	20								
	21								
	22								
	23					1			
	24								
	25					<u> </u>			
	26					1			
	27					1			
	28								
	29								
	30 △⇒l.π±≡≡₩					200			
払かま	合計時間数	<u> </u> ^シ ナル教材				328			
教科書			以お復羽士						
時間外 学習	学内で学んだ専門用語等の資料を復習する。								
子白 成績評価 方法	 数台出知等により、終合的に証価する								
	勤怠状況等により、総合的に評価する。 学校基準により4段階評価とする								
担当詳細	子校基準により4段階評価とする 1. 実務家 (2. 教員) 備 考								
実務経		- V V V V V V V V V V V V V V V V V V V	畑 石						
大伤性	心不小口ノ	<u> </u>							